



上賀茂だより

3月臨時号

京都市立上賀茂小学校
校長 谷 武彦

学校教育目標 「自分で考え 正しく判断し 進んで行動する子どもの育成」

〒603-8073 京都市北区上賀茂烏帽子ヶ垣内町1

☎ 711-0804 FAX 781-0480

上賀茂小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kamigamo-s/>

(携帯電話からもご覧になります。)



今こそ、家庭力・地域力を！

つい先日3月号で年度末のご挨拶をさせていただいたところですが、すでにご案内の通り、新型コロナウィルスの感染拡大防止策として、学校の臨時休業の措置がとられることが決定し、明日から休校となりますので、改めてご挨拶させていただきます。

経験したことのない急な対応に、この3日間文字通り振り回されました。日によって、時間によって刻々と変わら方針や施策。何が正解なのか分からぬままでですが、とにかく『感染拡大防止』を具現化するためには、統一した動きを取らなければいけません。何よりも子どもたちの安全・安心を最優先に考え、できるだけのことをして、できるだけの注意を喚起してきました。いよいよ明日から休校です。6年生は卒業式、1年生から5年生、1組は修了式を残すのみの今年度となってしまいます。学校で生活できなくなる12日間でどれだけのことができたかは分かりません。「あれもしてやりたかった」「これだけは伝えておきたかった」・・・挙げればキリがありませんが、残念ながら時間の猶予がありません。大切な子どもたちをご家庭にお返しします。趣旨を考えれば、決して楽しい長期休業であるはずはないのですが、安全・安心に最大限注意を払う中で、次の学年に向けて気持ちを高め、気持ちも含めて準備を進めておいていただきたいと思います。子どもたちが、学校の力の及ばないところにいることが多くなりますが、ここはひとつ、上賀茂に脈々と受け継がれてきた「地域の子どもは地域で育てる」の精神を大いに發揮していただき、ご家庭で、そして地域で子どもたちをしっかりと見守ってください。よろしくお願ひいたします。

正確な情報を得て、正しく恐れましょう！

世界中を震撼させ、重症化すれば命を落とすことにもなりかねない、実際恐ろしいウイルスだとは思いますが、不確かな情報や報道に惑わされて誤った判断をしてしまうことは避けなければいけません。特にインターネット上に溢れる情報には十分注意を払っていただき、正しい、新しい情報をもとに正しく対応していただきますよう、くれぐれもよろしくお願ひいたします。不要不急の外出は、できる限りお控えください。

何かございましたら、学校へご連絡ください。

儀式的行事変更のお知らせ

3月23日(月) 卒業証書授与式 午前9時30分 開式 於:体育館

*6年生103名が、小学校の全課程を終え、上賀茂小学校を卒立っていきます。

*1~5年生は、家庭学習となりますので、ご家庭でのお声かけをよろしくお願ひいたします。

3月24日(火) 修了式 場所や下校時刻、持ち物等は不明

*いつも通り、午前8時30分までに登校します。

※離任式は、実施の可否が現在未定です。

※臨時休業期間中に、予定が変更したり、新たに決定したりすることがあります。
その際には、本校ホームページでお知らせしますので、あらかじめご承知おきください。

10日(火)銀行振替日です。

今年度最終になりますので、お忘れのないようにお願いします。

臨時休校中の学び方のヒント

① 教科書を活用する。



千里の道も一歩から
継続は 力なり



教科書には「学習すべきこと」が、分かりやすくまとめられています。教科書をまとめたり、

音読したり、教科書にある問題を解いてみたりすると、学習したことを効率よく復習できます。

② 計算ドリルや漢字ドリルの問題に挑戦する。

ドリルのいいところは繰り返し学習ができるところです。1度目は普通にやって、2度目、3度目は間違えた所だけやってみるなど、繰り返すことで定着が図れます。効率よく効果的に学ぶことができます。

③ 返却されたテストやプリントを見直し、悩んだ問題や間違えた問題を解き直す。

間違えた所を中心に、なぜ間違えたのか、どうしたら良かったのかと考えることは問題解決力を育成する上でとても大切です。

④ NHKのEテレ(NHK教育テレビ)を視聴する。

『NHK for School』を活用し、興味のある動画を視聴する。

NHK
Eテレ **NHK for School**

10~15分程度で番組が構成されており、興味関心をもって、集中して視聴できるものが多いです。

⑤ 無料で利用できる様々なインターネット学習サービスやアプリを活用する。

今回の臨時休校に対して、様々な学習サービスが無料公開されています。それらを検索して、利用してみるのもいいかもしれません。ICTを活用すると、子どもの興味関心が高まったり、学習内容を効果的・効率的に学べたりすることが多いです。例えば、「臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト(通称「子供の学び応援サイト」)」が開設されました。アドレスは、https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htmです。うまく活用すると様々な学習に取り組むことができます。ただし、熱中し過ぎて、長時間になってしまうこともあるので、時間を守って学習させるというのも大切です。

⑥ 表現活動や創作活動に取り組む。

絵を描いたり、工作してみたり、楽器を演奏したり、料理を作ったりと、いろいろ表現活動や創作活動に取り組むと気分もすっきりするかもしれません。

⑦ 興味関心のあることを調べ、まとめる。

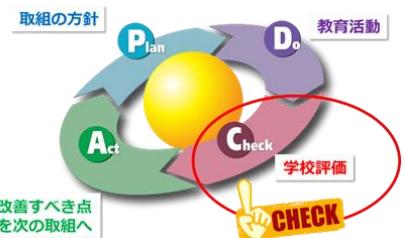
興味や関心のあることを辞書や辞典を活用したり、インターネットで検索したりして調べていく。調べたことを、ノートや用紙にまとめたり、報告させたりすると、理解も深まり、さらに問題解決力も育まれます。

〈調べ学習・まとめ学習のテーマ例〉

新出漢字 漢字熟語 新しい言葉の意味調べ
算数の予習ポイントまとめ 理科の実験手順のまとめ
理科の実験道具のポイント 新聞づくり 短歌・俳句
古文・漢文 生き物観察 交通標識みつけ
音楽記号調べ 恐竜図鑑調べ 工場のひみつ調べ
折り紙・はり絵 キャラクター作り なわとび
ことわざ調べ 四字熟語調べ 点字探し 数の不思議
都道府県調べ 世界の国旗調べ 新聞コメント
英語調べ お手伝いのコツ 不思議に思ったこと
読書感想文 おすすめの本紹介 作家活動
説明書づくり 歴史上の人物調べ サイン作り
スイーツ調べ 画家・作家調べ ペット紹介
動物調べ 電車紹介 外国文化調べ など

令和元年度 第2回学校評価結果について

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は『確かな学力』に関する質問7項目、『豊かな心』に関する質問4項目、『健やかな体』に関する質問3項目、その他3項目の計17項目の「学校評価保護者アンケート」を1月に実施いたしましたところ、96.2%の保護者の方にご回答いただきました。



◇保護者アンケート結果

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	確かな学力
お子さんは、毎日楽しく学校に通っていると思われますか。	58.6%	37.1%	3.7%	0.6%	
お子さんは、学習したことをきちんと理解していると思われますか。	33.0%	56.9%	9.0%	1.1%	
お子さんは、授業中すすんで発表していると思われますか。	22.0%	39.6%	30.8%	7.5%	
お子さんは、すすんで宿題に取り組めていると思われますか。	36.5%	41.7%	18.1%	3.7%	
お子さんは、すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組めていると思われますか。	24.2%	31.0%	33.7%	11.2%	
お子さんは、家でも本を読んでいると思われますか。	26.1%	29.2%	30.5%	14.2%	
お子さんと学校での出来事や様子について話ができるいると思われますか。	30.3%	50.7%	17.1%	1.8%	
学級活動や児童会活動、たてわり活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていると思われますか。	23.8%	65.2%	10.5%	0.6%	
お子さんは、人をいじめたり、なかまはずれにしたりしないように行動し、友だちと仲よく生活できていると思われますか。	56.5%	40.7%	2.2%	0.6%	
お子さんは、家族・友だち・近所やスクールガード隊などの人に対してきちんと挨拶していると思われますか。	35.3%	55.5%	8.4%	0.7%	
お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていると思われますか。	50.5%	46.2%	2.9%	0.4%	
お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についていると思われますか。	35.3%	44.3%	18.5%	1.8%	
お子さんは、安全に気を付けて行動できていると思われますか。	37.5%	55.5%	5.7%	1.3%	
お子さんは、元気に体を動かしていると思われますか。	50.5%	37.5%	9.6%	2.4%	
学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かると思われますか。	27.4%	61.3%	10.5%	0.7%	
小中の連携した教育活動(6年生の中学校体験・生き方探究チャレンジ体験など)は、お子さんの中学進学時に役立つと思われますか。	36.5%	54.4%	8.3%	0.7%	
保幼小の連携した教育活動(交流・ランドセル体験・給食体験など)は、お子さんの小学校入学時に役立っていると思われますか。	38.4%	52.9%	8.2%	0.6%	

◇児童アンケート結果

	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
まいにちがっこうにたのしくかよえていますか。	63.2%	29.5%	5.8%	1.5%
じゅぎょうはよくわかりますか。	57.0%	37.9%	4.6%	0.5%
じゅぎょううちゅう、すすんではっぴょうしていますか。	33.3%	27.4%	28.3%	11.0%
じぶんからすすんでしゅくだいをしていますか。	56.7%	30.9%	10.6%	1.8%
しゅくだいとはべつに、いえですすんでがくしゅうをしていますか。	39.7%	28.8%	20.7%	10.8%
いえでもすすんでほんをよんでいますか。	37.1%	26.8%	23.1%	13.0%
がっこうでのできごとをいえのひとにはなしていますか。	50.3%	25.5%	18.8%	5.5%
たてわりかつどうをたのしんでいますか。	56.8%	29.7%	10.1%	3.5%
ひとをいじめたり、なかまはずれにしたりしないようにして、なかよくがっこうせいかつかがおくれていますか。	79.4%	17.5%	2.7%	0.4%
だれにたいしてもじぶんから、きもちのよいあいさつをしていますか。	49.4%	39.7%	9.5%	1.5%
がっこうのなかでもそとでもきまりをきちんとまもってせいかつしていますか。	57.0%	38.6%	4.4%	0.0%
「はやね・はやおき・あさごはん」ができますか。	37.0%	41.3%	18.2%	3.5%
がっこうやいえで、あんぜんにきをつけてこうどうしていますか。	72.1%	24.2%	3.3%	0.4%
たいいくのじかんややすみじかんに、げんきにからだをうごかしていますか。	64.4%	22.5%	11.3%	1.8%
がっこうでくばられたてがみやプリントをきちんとおうちのひとにみせていますか。	68.5%	23.0%	6.9%	1.6%

今回は、予定されていた学校運営協議会理事会が中止となり、理事の皆様からご意見をいただくことができませんでした。ご了承ください。





『確かな学力』の育成に向けて

1月に行われた3年生以上の「プレジョイントプログラム」、「ジョイントプログラム」においては、全市平均を上回る結果を得ました。しかし、個々に結果を見てみると、平均を下回る子がいることも看過できません。学力の二極化が進行しないように、これらの結果や1・2年生は2月に実施した「研究会テスト」の結果を分析し、本校の強みと弱みを明らかにすることで全体をボトムアップできるような「学力向上プロジェクト」を推進していきたいと考えています。

また、次年度より新学習指導要領が全面実施される中、「主体的・対話的で深い学び」を目指していく上、授業中にはすんで発表できる子、すんで宿題以外の自主的な学習に向かえる子を育てていけるように、さらなる授業改善や月・水・金に設定している15分間の帯時間（ねっこタイム）の見直しを行う等、学力向上に取り組んでいきたいと考えています。



『豊かな心』の育成に向けて

本校の子どもたちは、人権意識も高く、友達と仲良く、楽しく学校生活を送っている子が多いということがうかがえます。2月に子どもたちに実施した「道徳アンケート」では、9割の子が「道徳の時間は役に立つと思う」と回答し、8割の子が「道徳の時間に考えたことを生活の中でその通りだと思ったことがある」と回答していることからも、本校が研究を進めてきた道徳の時間が子どもたちの豊かな心の育成につながっていることがうかがえます。

「あいさつ」については、「おはようございます」「さようなら」だけではなく、昼頃になると「こんにちは」のあいさつをする子も見られます。また、「○○先生 おらっしゃいますか」と職員室へたずねて来る子どもに、「『いらっしゃいますか』ですよ」と言い方の訂正をすることがあります。間違ってはいますが、低学年であっても敬語を使おうという相手意識や社会性が育まれてきていることがうかがえます。



『健やかな体』の育成に向けて

今年度は、インフルエンザや新型コロナウィルス等の猛威により、感染症の予防と健康の保持・促進が社会問題となりました。本校では、教職員はもちろん、保健委員の児童からも「手洗い・うがい・換気」の励行を呼びかけるなど、予防への意識を高めることができました。アンケート結果からは、保護者・児童ともに「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化についての評価がやや低いように思われます。5日（木）から臨時休業が始まり、家庭で過ごす時間が長くなります。生活のリズムが乱れてしまうと体調を崩してしまうことにもつながります。不要不急の外出を避けることは大前提ですが、学校で取り組んできた予防策と規則正しい生活を心がけるように、ご家庭でもご留意いただければと思います。



情報発信 連携・接続について

ホームページでは、「AEDマップ」等のリンクを充実させることで、活用できるサイトを目指してきました。小中連携では、卒業生6名がチャレンジ体験に来校し、読み聞かせや環境整備に取り組みました。6年生が中学校体験を早い時期に経験することで、中学校生活への見通しをもつことができました。保幼小の接続では、ランドセル体験・交流給食は中止になりましたが、定例となっている取組に加えて学習発表会や図工展を園児が鑑賞するなど、スムーズな接続に向けた取組が年々進化していっています。